

ABSTRAK

Muhammad Rizky, 2019. Analisis Penggunaan Partikel *Mo*, *Demo*, dan *Sae* dalam Kalimat Bahasa Jepang, Skripsi Program Studi Bahasa Jepang Fakultas Bahasa dan Seni Universitas Negeri Jakarta.

Dalam bahasa Jepang terdapat beberapa satuan bahasa yang memiliki kesamaan makna, salah satunya adalah penggunaan partikel. Penulis memilih judul ini dikarenakan adanya kesamaan arti antara partikel *mo*, *demo*, dan *sae*. Adapun alasan penulis memilih partikel tersebut ialah partikel tersebut merupakan salah satu dari beberapa partikel yang penggunaannya banyak ditemukan dalam konteks lisan maupun tulisan dan kurangnya pemahaman mahasiswa mengenai fungsi dari partikel secara mendalam.

Yang menjadi tujuan dari penelitian ini ialah untuk mengetahui struktur partikel penegas *mo*, *demo*, dan *sae*, makna yang terdapat pada penggunaan partikel penegas *mo*, *demo*, dan *sae*, serta persamaan dan perbedaan penggunaan partikel penegas *mo*, *demo*, dan *sae*. Adapun metode yang digunakan dalam penelitian ini adalah metode kualitatif deskriptif serta metode analisis yang digunakan ialah membuat komponen makna dan teknik substitusi.

Hasil dari penelitian ini adalah partikel *mo*, *demo*, dan *sae* banyak muncul pada jenis kelas kata partikel lain, dan nomina. Terdapat beberapa penggunaan partikel yang dapat saling mensubstitusikan, contohnya untuk menunjukkan suatu hal yang ekstrem, dan kesetaraan. Namun penggunaan pada masing-masing partikel menimbulkan makna yang berbeda-beda. Partikel *mo* tidak secara jelas mengungkapkan hal ekstrem. Partikel *demo* mengungkapkan hal ekstrem dan menunjukkan hal-hal lain secara bersamaan dan banyak digunakan pada kalimat tidak pasti. Partikel *sae* dapat menunjukkan hal ekstrem dengan lebih jelas dibandingkan partikel lainnya.

Kata kunci : analisis kalimat, partikel bahasa Jepang, *toritatejoshi*

日本語文章における「モ」「デモ」「サエ」のとりたて助詞の 使い分けの分析

ジャカルタ国立大学

言語技術学部

日本語学科

ムハマッド・リズキ

muhmdrizky@gmail.com

概要

a. 背景

日本語では意味が似ている言語単位がいくつかあり、一つは助詞の使い分けである。名詞に接続して補足語や主題を作る動きをするもの、語と語、節と節を接続する動きをするもの、等を一括して「助詞」という。Iori (2000:345) は日本語の助詞は意味上で、4つに分かれている。それぞれは終助詞と格助詞と並列助詞と取り立て助詞がある。そして、Masuoka と Takubo (2000:49) は、助詞は文を組み立てにおける動きの違いによって主として、「格助詞」、「提題助詞」、「取り立て助詞」、「接続助詞」、「終助詞」、等に分かれる。本研究ではとりたて助詞について研究するわけである。Nita (2003 : 3)は、とりたて助詞は文のある要素をきわだたせ、同類の要素との関係を背景にして、特別な意味を加える事である。とりたて助詞では6つにわかれている、その一つは極限のとりたて助詞である。極限のとりたて助詞とは普段なものよりなにかが非常のような要素をとりたてるといふ働きをする助詞である。極限の意味をもっている助詞では「モ」、「デモ」、「サエ」がある。「モ」、「デモ」、「サエ」のなかでそれぞれは意

味的に似ているためこの分析を行った。これらの助詞を決めるのは口語や文語を使うことが多い、しかし学習者たちのなかでは助詞の使用に関して完全に理解する能力が不足していると言われているわけである。

本研究では「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞の構造や意義や使い分けにおける類似と異同をあきらかにするという目的である。利用する分析の方法は定性的記述法で意味の構成要素と置換技術を使用して分析する。本研究の目的は以下のように述べている、

1. 「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞の構造を知ること、
2. 「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞の意味を知ること、
3. 「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞の使い分に対して類似と相違を知ることである。

b. 問題提供

本研究の問題提供は三つがあり、それらは次のようである。

1. 「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞の構造はどうだろうか？
2. 「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞の意味はどうだろうか？
3. 「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞の使い分に対して類似と相違はなんだろうか？

c. 解決

本研究は 2018 年 6 月から 2019 年 1 月まで、ジャカルタ国立大学で行われた。本研究は記述的な研究方法を用いる。本研究は「モ」、「デモ」、「サエ」の使い分けを分析する。

それらの助詞がついている文章をまず収集する。文章は「言の葉初納言」というサイトから取りまとめる。データから「モ」、「デモ」、「サエ」のとりたて助詞がついてる文章のなかでは「モ」がついている文章は 17 あり、「デモ」がついている文章は 13 あり、「サエ」が

ついでに文章は14ある。それぞれは助詞が添付された異なる品詞から分析を行った。

本研究の結果は以下のように述べている

1. 構造的に：

- a. 「モ」は「に」、「と」、「より」、「の」、「さえ」のような他の助詞と名詞に添付できる。
- b. 「デモ」は「に」、「と」、「から」のような他の助詞と名詞と動詞に添付できる。
- c. 「サエ」は「に」、「と」、「で」、「を」のような助詞と名詞と動詞と形容詞に添付できる。

2. 意味的に：

- a. 「モ」は並立の意味と、極端な意味と、和らげさせる意味と、設問語に答えるものを肯定することと他の助詞の機能を主張することをあらわせる。
- b. 「デモ」は極端なものを表すだけでなく他のものも表すこと特徴があり、「ほか」という名詞を以外全体のものを肯定することを表せる。
- c. 「さえ」は明確的に極端なものを表し、ある状態をできるために極端なものを最低状態にする意味を表せる。

3. 同じこと：

- a. 一般的に、「モ」や「デモ」や「サエ」がほかの助詞にも名詞にも添付できる。
- b. 全ては極端なものや以外なものや習慣で見れば本当は起きられないようものを取りたてられる。そして並立の意味ももっている。

4. 違うこと：

- a. 極端なものを表す
 - 「モ」は極端なものを表すことは曖昧で、文脈上で判断する。

- 「デモ」は極端なものを表すだけでなく、通常で起きられるほかのものも表す。
 - 「サエ」は明確で極端なものを表す。
- b. 同時に一つ以上のものを取りたてる
- 「モ」は述語や文が既定なものでできる。
 - 「デモ」は想定とか述語や文が既定ではないものでできる。
 - 「サエ」はできない。
- c. 質問語を取りたてる
- 「モ」は否定文のみでできる。
 - 「デモ」は肯定文のみでできる。
 - 「サエ」はできない。
- d. 他の違う
- 「モ」は和らげの意味を表せる、添付できる助詞はもっと多い、そして副詞も取り立てできる。
 - 「デモ」はものを取りたてそれを一つの事例にして当然なものは起きられることを同時に表し、想定や招待を表す文で多い。そして修飾語を組成する要素でもよくある。
 - 「サエ」はものを取りたててある状態が達成するようにそれは最低な状態にする意味がある。

d. 結論

「モ」や「デモ」や「サエ」のとりたて助詞はほかの助詞と名詞に添付することが多い。極端な要素や並立を表すような目的をそれぞれの助詞の使い分けのなかで他の二つの助詞と代替できる。それにしても、それぞれが現れる意義は異同だ。「モ」は極端な要素を表すことは曖昧で、「デモ」は極端を表すだけでなく他のものを同時に表し、既定ではない文章で使われることが多い特徴があり、「サエ」は明確に極端という要素を表す助詞だ。